

令和8年8月26日

徳島河川国道事務所

E55

とくしまなんぶ

こまつしまみなみ

あなん

徳島南部自動車道 小松島南IC～阿南IC 開通4ヶ月後の交通状況について

令和8年3月8日（日）に開通した徳島南部自動車道 小松島南IC～阿南ICの開通4ヶ月後の交通状況と整備効果についてお知らせします。

【開通4ヶ月後の交通状況】

- 徳島南部自動車道 小松島南IC～阿南ICの交通量は約3,300台/12h。
- 交差点改良（右折レーン延伸）を実施した立江川橋西詰交差点では開通前に比べ、国道55号から開通区間方面へ向かう交通量が約3割増加し、開通区間に並行する県道22号・県道130号の合計交通量が約1割減少。

【整備効果①】周辺道路の交通混雑が緩和

- 通勤時間帯に発生していた交通混雑が緩和（渋滞長660m→0m）し、利用者も効果を実感。
- 平均旅行速度が約8km/h～12km/h向上。

【整備効果②】周辺企業への定時性・アクセス性が向上

- 所要時間が減少し、定時性も向上。（ばらつきが最大で約15分減少）
- 開通区間を利用する物流業者は、定時性・アクセス性向上を実感。

【整備効果③】搬送時間短縮等による救急医療活動支援

- 徳島県南部地域から徳島赤十字病院への搬送ルートの所要時間が約6分短縮。

※今後も引き続き調査を行い、効果を検証していきます。

本施策は、四国圏広域地方計画の広域連携プロジェクト【1.1 大規模自然災害への防災力向上プロジェクト、3.2 シームレスな四国を実現する交通・通信基盤整備プロジェクト】等の取組に該当します。

本施策は、WISNET2050の実現に向けた政策コンセプトに該当します。

徳島河川国道事務所ホームページ

(<https://www.skr.mlit.go.jp/tokushima/index.html>)

X（旧 twitter）情報

(https://x.com/mlit_tokushima)



ホームページ



X（旧 twitter）

【発表先】徳島県政記者クラブ

【問い合わせ先（〇は主な問い合わせ先）】

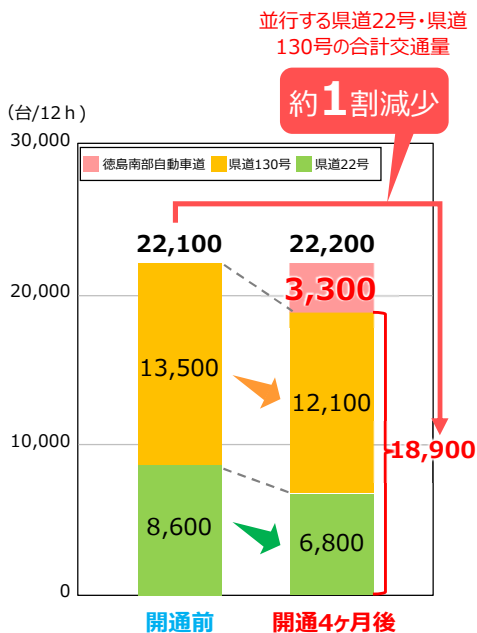
国土交通省	四国地方整備局	徳島河川国道事務所	TEL：088-654-2211（代表）
副所長（道路）	南原	道昭（みなみはら	みちあき）
〇道路調査課長	定金	孝典（さだかね	たかのり）

開通4ヶ月後の交通状況

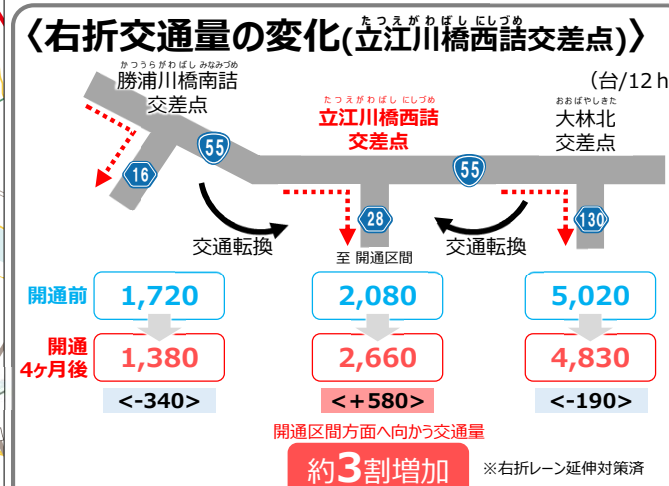
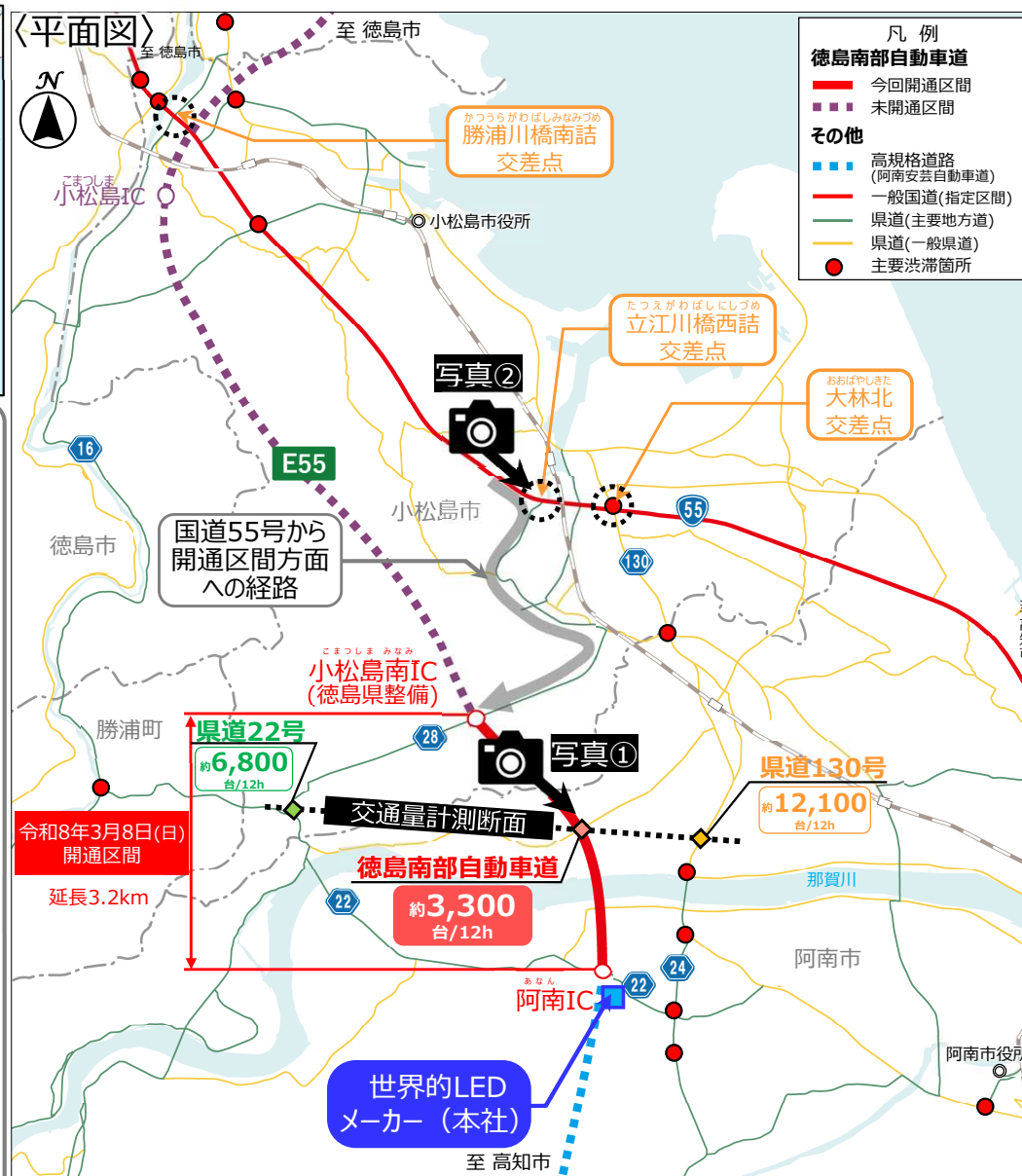
- 徳島南部自動車道 小松島南IC～阿南ICの交通量は約**3,300台/12h**。
- 交差点改良(右折レーン延伸)を実施した立江川橋西詰交差点では開通前に比べ、国道55号から開通区間方面へ向かう交通量が約**3割増加**し、開通区間に並行する県道22号・県道130号の合計交通量が約**1割減少**。



〈交通量の変化〉



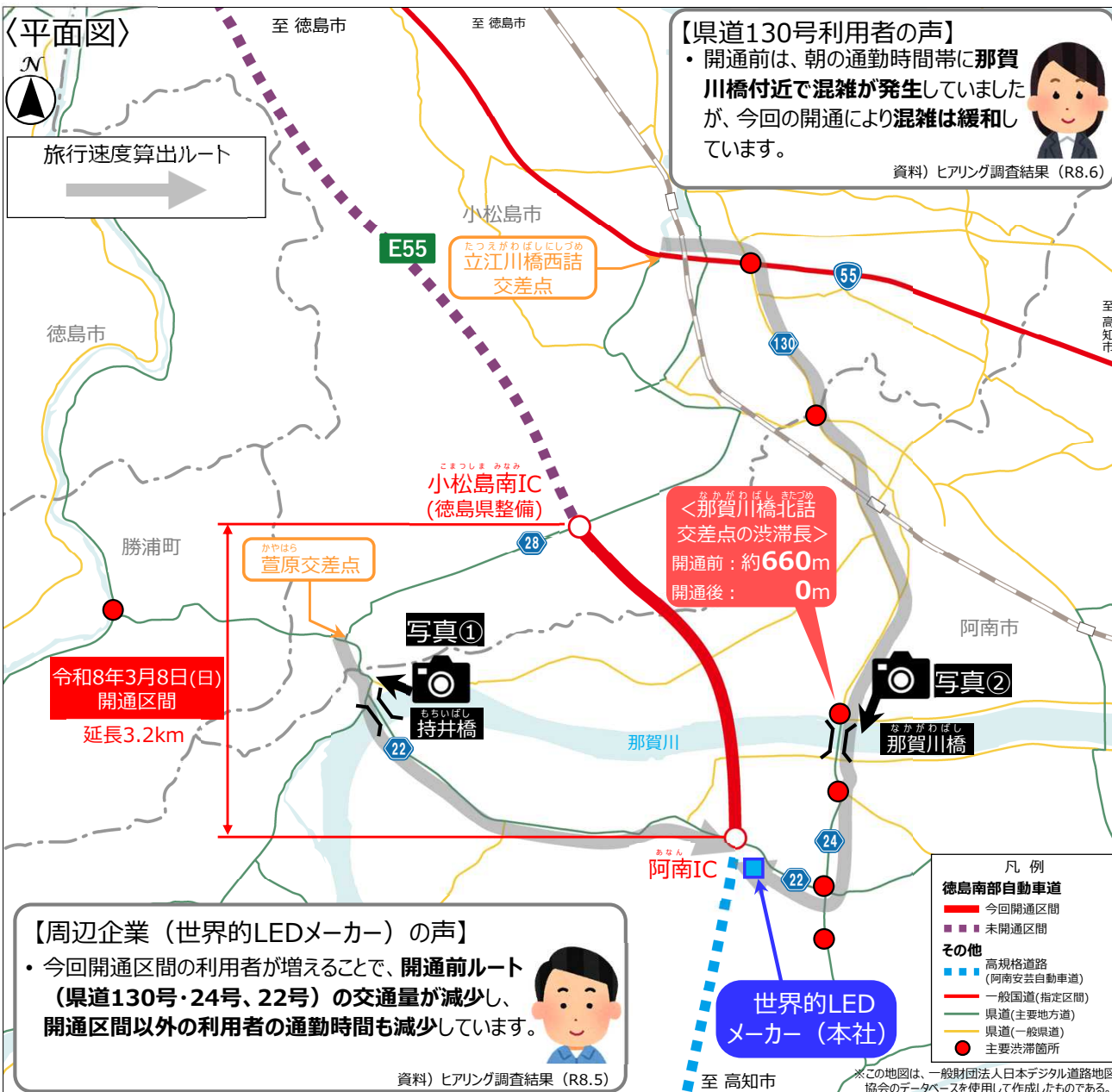
資料) 交通量調査結果
開通前: R8.1.20(火)
開通4ヶ月後: R8.7.16(木)、21(火)
※12時間(7時台～18時台)



資料) 交通量調査結果 開通前: R8.1.20(火)、開通4ヶ月後: R8.7.14(火)
※12時間(7時台～18時台)

【整備効果①】 周辺道路の交通混雑が緩和

- 今回の開通により、県道130号の通勤時間帯に発生していた**交通混雑が緩和（渋滞長660m→0m）**し、**利用者も効果を実感。**
- 開通前ルート（県道130号・24号、22号）の**平均旅行速度が約8km/h～12km/h向上。**



〈那賀川渡河部付近の交通状況の変化〉

▼写真①:持井橋付近

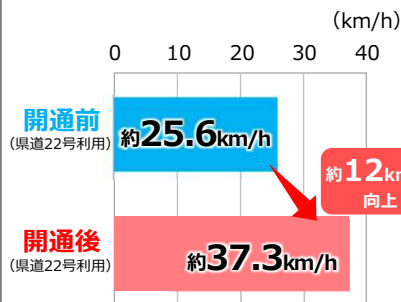


▼写真②:那賀川橋付近

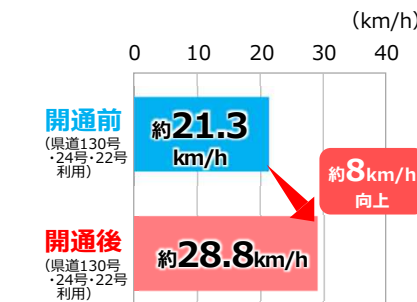


〈平均旅行速度の変化〉

▼萱原交差点⇒阿南IC



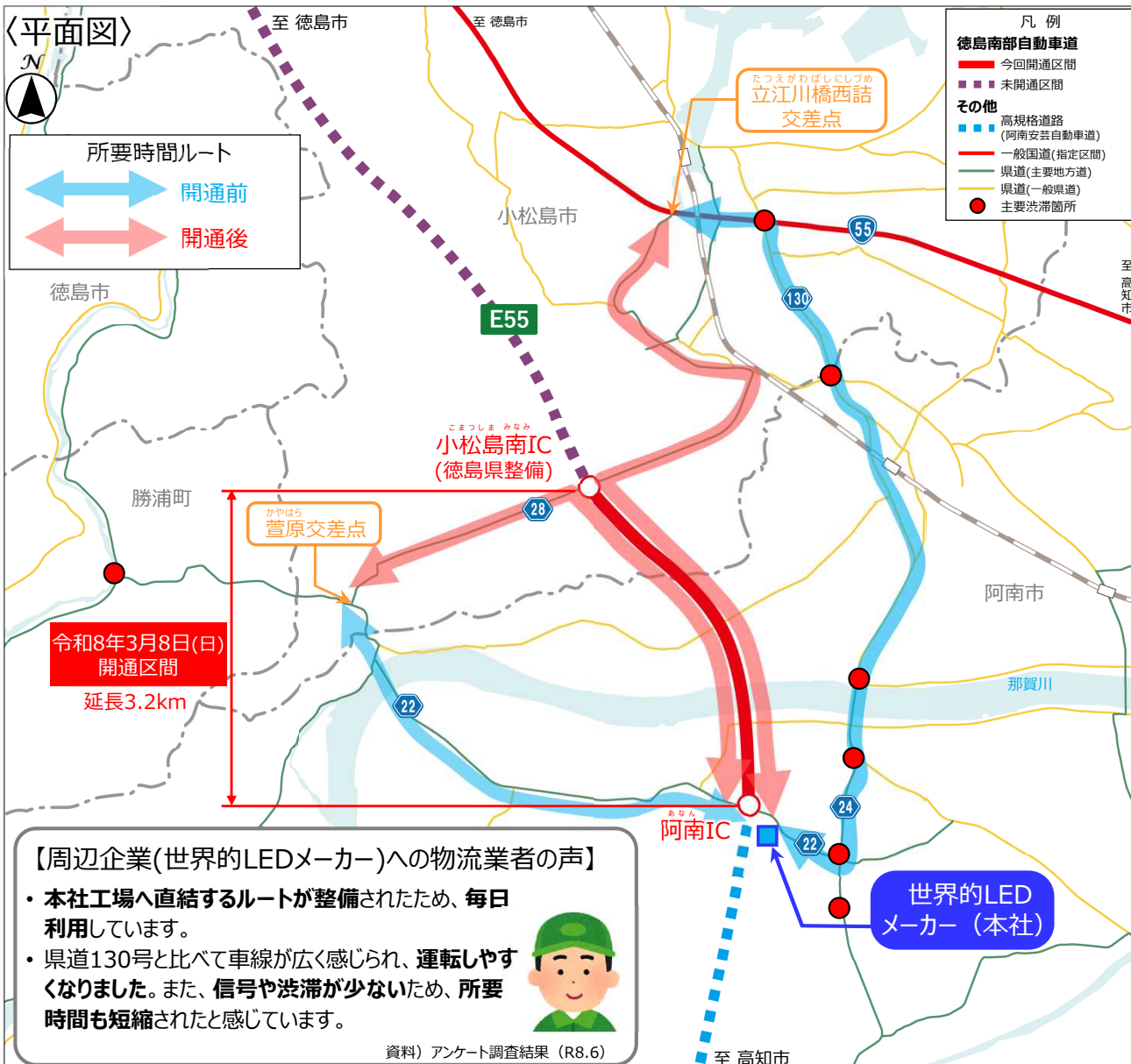
▼立江川橋西詰交差点⇒阿南IC



資料）ETC2.0プローブデータ 朝2時間平均旅行速度（7時台～8時台）
開通前：R6.9-10【平日】 開通後：R8.4-5【平日】

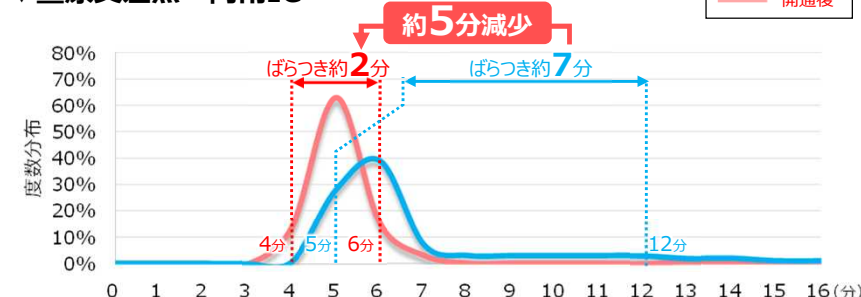
【整備効果②】 周辺企業への定時性・アクセス性が向上

- 今回の開通により、**周辺企業への新たなルートが形成**され、所要時間が減少し、**定時性も向上**。（ばらつきが最大で約15分減少）
- 開通区間を利用する**物流業者は「時間が読みやすくなった。所要時間が短縮した。」**など**定時性・アクセス性向上を実感**。
未利用の物流業者からも延伸による今後の利用意向が示されており、**ネットワーク形成に伴う利用拡大の可能性が伺えます**。

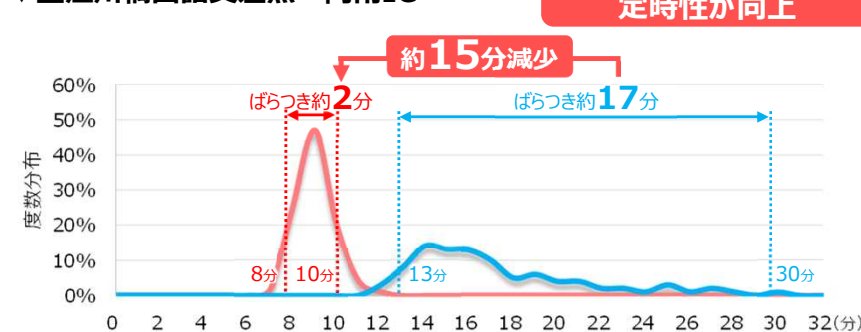


〈所要時間のばらつきの変化〉

▼萱原交差点～阿南IC



▼立江川橋西詰交差点～阿南IC

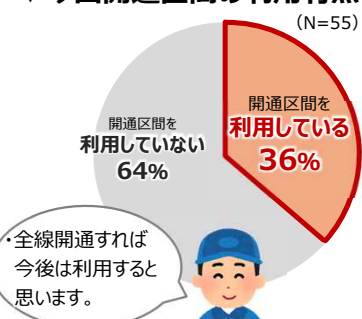


※ばらつき：特異値（所要時間の上位・下位10%）を除いた所要時間の差
資料) ETC2.0プローブデータ 昼間12時間（7時台～18時台）
開通前：R6.9-10[平日]、開通後：R8.4-5[平日]

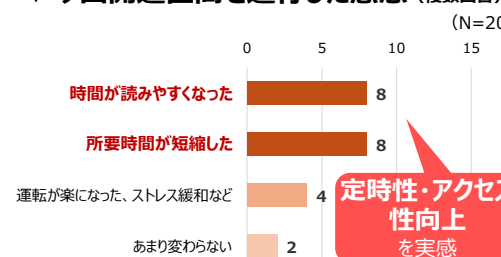
〈アンケート調査結果〉

※世界的LEDメーカーに出入りする物流業者へのアンケート調査

▼今回開通区間の利用有無 (N=55)



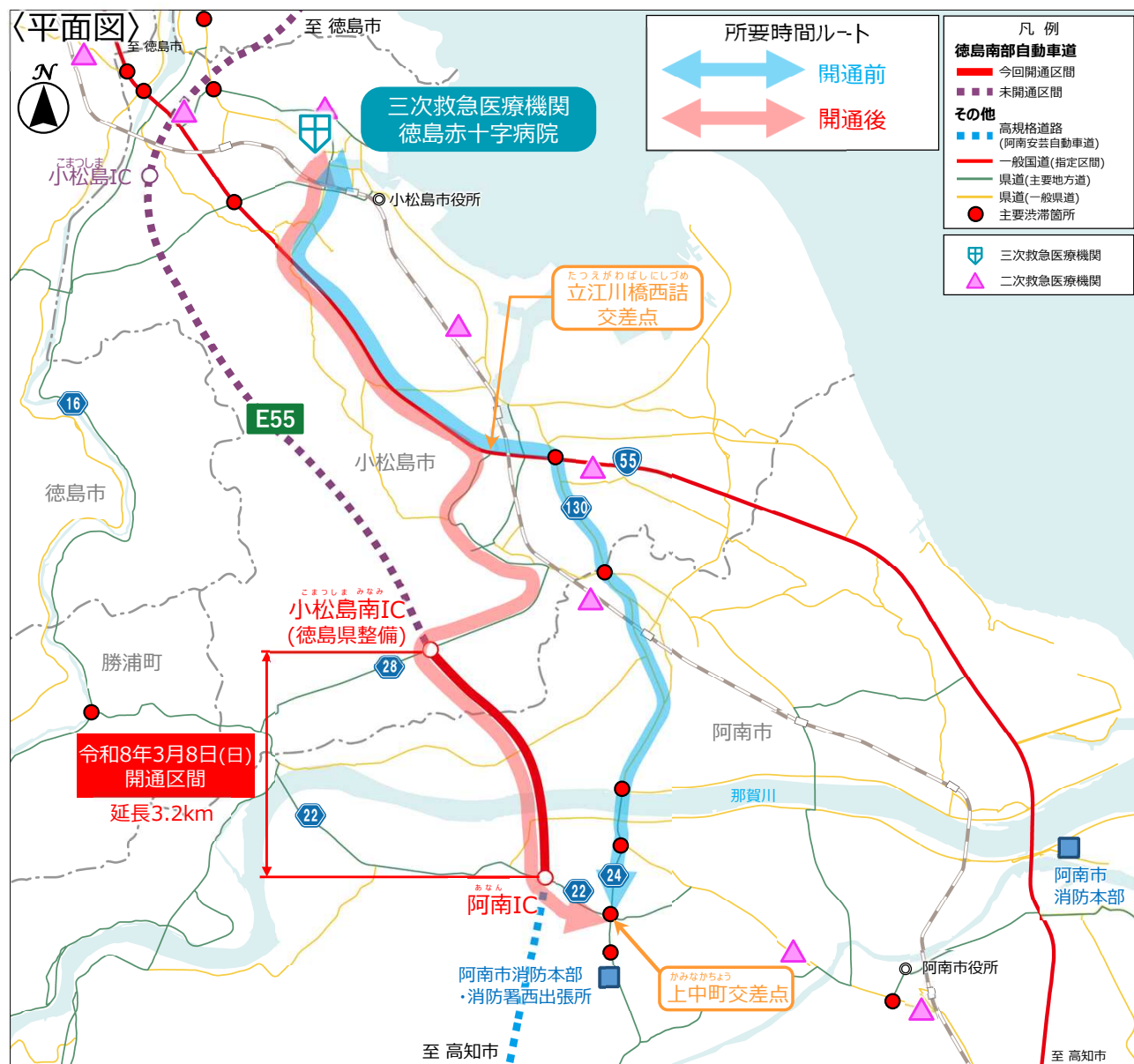
▼今回開通区間を通行した感想 (複数回答) (N=20)



資料) アンケート調査結果 (R8.6)

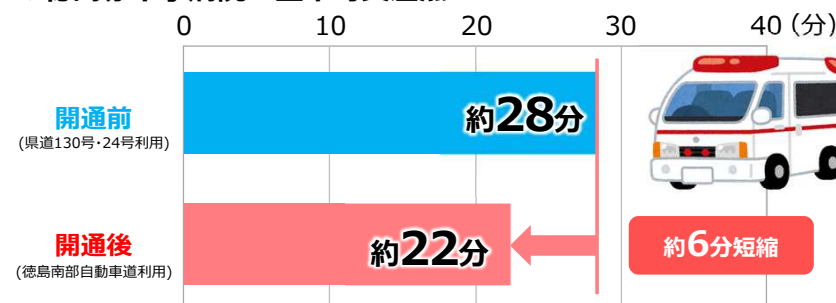
【整備効果③】搬送時間短縮等による救急医療活動支援

- 今回の開通により、徳島県南部地域から三次救急医療機関である徳島赤十字病院への搬送ルートの所要時間が約6分短縮。
- また、開通後は、開通前に比べ急ブレーキ発生頻度が約2割減少し、走行性が向上。
- 今後の道路延伸により、救急搬送での利用拡大が見込まれ、地域の救急医療活動への更なる支援につながるものと考えられます。



〈所要時間の変化〉

▼徳島赤十字病院～上中町交差点



〈急ブレーキの発生頻度の変化〉

▼立江川橋西詰交差点～上中町交差点



【救急医療関係者の声】

- ・現時点では、今回開通区間の利用は阿南IC周辺などに限られますが、現道利用時と比べて搬送時間の短縮や走行性の向上が見られます。
- ・今後、道路延伸が進めば、多くの救急隊による救急搬送での活用が見込まれ、更なる効果が期待されます。

